



2013-14 年度 R I のテーマ「ロータリーを實踐し  
みんなに豊かな人生を」  
R I 会長 ロン D. バートン (Engage Rotary, Change Lives)  
八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 北山 輝夫 ● 会長 小原 隆平 ● 幹事 清川 浩幸 ● 会報委員長 三浦 晃  
ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)  
RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org>

第 1860 回例会記録 <<ロータリー財団委員会担当例会>>  
2013 年 11 月 28 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1298

第 1860 回例会要旨

- ・ 会長要件《小原会長》
- ・ 幹事報告《清川幹事》
- ・ 各委員会報告  
《出席、親睦》
- ・ ロータリー財団委員会



米内 S A A

<<会長要件>>小原会長



南浦項 R C から、御礼のファックスが届いておりますので、朗読させていただきます。(ファックス文面朗読)

さて、御承知のように 11 月はロータリー財団月間であり、本日はロータリー財団委員会担当

例会となっております。

会長要件にはふさわしくないかもしれませんが、ロータリー財団寄付に関する税制上の優遇措置について少し説明させていただきます。

ロータリー日本財団は公益財団法人となっているため、同財団に対する寄付金は、所得税法上、所得控除と税額控除のうち有利な方を選択できるようになっています。財団からの確定申告用領収証は、7 月から 12 月までの寄付については翌年 1 月末に、1 月から 6 月までの寄付については同年 7 月末にクラブ宛にまとめて送付されます。また、ロータリー米山記念奨学会も公益財団法人となっており、特別寄付金が年間 2,000 円以上になった場合には、翌年 1 月末までに同奨学会から確定申告用領収証がクラブにまとめて送付されます。

年間 2,000 円を超える寄付金については所得税法上のメリットがありますので、ロータリー財団及び米山記念奨学会から送られた確定申告用領収証を大切に保管し、確定申告されることをお勧めします。



《出席報告》田守出席委員長  
正会員数 44 名。本日の出席は免除会員 3 名を含む 25 名。出席率 67% です。前々回の例会は、メーキャップ 4 名、出席率 66% でした。

《マルチプル P H F》



長嶺会員 + 6



鈴木会員 + 5

《幹事報告》清川幹事

・ 工藤ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会登録の案内が届いています。1 月 5 日 (日) 12 : 30 ~ 八戸プラザホテル 登録料 8,000 円

・ 日台ロータリー親善会議  
1 月 26 日 (日) 14 : 00 ~ 台湾 台北市

・ 例会変更 八戸 R C 12 月 25 日 (水) 時間変更  
・ 11 月 6 日に小原会長が出席した平成 25 年度八戸市功労者・善行者表彰式の写真が届いていますので回覧します。

・ フィリピン大災害復旧支援の募金を引き続きお願いします。



《ニコニコボックス》平光親睦委員長



小原会長 : ロータリー財団委員会担当例会よろしくお祈いします。

清川幹事 : 本日はロータリー財団担当例会です。伊藤委員長、長嶺地区財団委員長よろしくお祈いします。

伊藤会員 : 長嶺地区財団委員長、本

日はよろしくお祈りします。

**平光会員**：クリスマス家族会、来週から出欠確認します、よろしくお祈りします。三浦さん写真ありがとうございました。

## 《ロータリー財団委員会》

### 伊藤委員長

今日は地区の財団委員長をなさっている長嶺さんに卓話をお願いしました。長嶺さんよろしくお祈りします。

### 長嶺地区財団委員長



地区の財団委員長をしている長嶺です。今日は伊藤さんから卓話を頼まれましたのでお話しさせていただきます。財団のDDFとかワールドフアンドについてお話ししても皆さんご存知の通りなので、財団の寄付について別の切り口でお話ししたいと思います。

ロータリーでは政治や宗教の話をするなど言われますが、仏教は自分が何のために生まれてきたのか、またいかに生きるかといったブッダの人生哲学だと思います。ブッダの教えは宗教ではなく、宗教とは神、仏の話であり仏教というのはブッダの話を後の人が自己流に解釈していろいろな宗派に分かれて広めたもので、これは宗教になりますが、私は宗教についてではなくブッダの説いた人生哲学について皆さんにお話ししたいと思います。

日本ロータリーとか日本民族の根底に流れている仏教的なものや儒教的なものは国際ロータリーとか欧米人の根底に流れているものとは基本的に似て異なるものがあると思うのです。顕著なものはロータリーのサービス、奉仕です。奉仕は日本流に言えば奉仕の意味合いが違いますが、日本流な仏教的、儒教的に考えますと奉仕とは布施、お布施です。お布施が日本人的にはピッタリくると思います。

布施とは、今それを必要とする人のために心を込めてすべてを捧げ、つくす、人の喜びは我が喜び、人の悲しみは我が悲しみと受け入れる事です。これが日本流の奉仕だと思います。布施によって相手の事を親身になって受け入れる事により自分を磨く、そういうことを好きな人間がロータリーには集まっていると思います。ロータリーには、向上心の高い人が自然と集まる土壌があると思います。

ブッダの人生哲学の中でお布施は大きく分けて財施、法施、無為施とあります。財施とはお金とか衣食を必要とする人のために使っていただく、自分の浄財を必要としている人のために喜んで使うことで、法施とは物とかお金を布施するのではなく、人生哲学や真理を説いて知恵で人々の心に安らぎを与えること、無為施とは恐れを無くすることで、恐怖、怯え、恐れおののくことを取り除いて安心させることです。世の中には施すべき財産も法を説く知恵もなく、また人の恐れおののきを取り除いてやる手だてもない人が多くいると思いますが、そういう人は布施は出

来ないかという仏教の大蔵経という經典の中に財力と知恵がなくても七つの施しができることあり、私がよく言う無財の七施です。これは眼施・和顔施・言辞施・身施・心施・床座施・房舎施ですが、詳しく言いますと眼施は目の施し、人と接した時に慈しみの目、やさしい目付で接する、和顔施とはいつも穏やかに、和やかな顔付きで人に接する、言辞施とは言葉で、やさしい言葉で、思いやりのこもった態度とか言葉を使うこと、身施とは、身を施すという事で骨身を惜しまず人の嫌がる仕事を喜んでするという事、それから心の施しである心施ですが、これは思いやりのある心で人に接する、今風に言えばおもてなしになると思います。床座施とは、座る座席を人に譲ること、房舎施は、雨風をしのぐ軒先を貸すとか、客を家に迎えることで、このように七つの施しができるという事で、これが大蔵経の中の無財の七施です。

世の中には布施というと金持ちが貧乏な人にお金を恵んでやる、と考えている人もいますが、布施を恵んでやるんだという上から目線で考えますとせっかく人のために行った布施が陰徳にはなりませんので、布施をする人の心の持ち方がこれからの問題になるのではないかと思います。奉仕する人の心の立ち位置が奉仕をする上で重要で本当に困っている人、本当に必要としている人に喜んでいただきたいという一心で、何の欲得もなく浄財を喜捨するという事は財団にも言えると思います。財団の寄付もお金を恵んでやるというような上から目線ではなく、浄財を喜んで捨てる、喜捨という事が日本流に言えば寄付であり、財団の寄付もこのように出来ればいいのかなと思っています。

皆さんが財団にしている寄付が、地区とか世界でどのように使われているか紹介したいと思います。グローバル補助金ではタイの3330地区で、前の財団委員長の富岡さんが中心になって識字率の向上とか水のプロジェクトをしており、今年もタイの水プロジェクトは引き続きやる所です。ポリオプラス基金は、インドでのポリオ撲滅の為に関場PGを中心に尽くしています。うちのクラブが中心となった蕪嶋トイレの寄贈でも皆さんが財団に寄付して頂いたお金の中から賄われています。地区のプロジェクトで今年度は地区補助金を使って20のクラブがそれぞれのクラブでよいことをしています。(各クラブの事業を紹介)また、地区の奨学金として弘大の奨学生に奨学金を授与しています。こういった形で皆様からロータリー財団へ寄付して頂いたお金は地区、そして世界的にタイやインドのポリオ撲滅などいろいろな形で生かされていることを知っていただきたいと思います。ご紹介しました。

地区ではポールハリスソサィアティを増やそうと、島村PGを中心に活動しています。ポールハリスソサィアティとは、毎年1,000ドル以上を寄付します、と地区に申請し毎年1,000ドル以上を寄付して頂く方にソサィアティの認証をしています。

ロータリー財団の使命は寄付やプログラムの活動を通じて世界理解や世界平和を達成するRIを支援することです。皆様のお手元に少しの余裕のある浄

財があれば、それを寄付して頂くことにより、今よりもっと地域や世界で良い事が出来ると思います。財団の寄付は強制ではありませんので、自分で無理なくできる範囲で行動して頂き、少しでも住みよい世界ができればと思います。

財団の話と言えば寄付になりますが、寄付をすることによって少しでも必要とする人たちへ、必要とするものを使っていただければという事に喜びを見出し、我々ロータリアンとして、自分で出来ることをしていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

#### 伊藤委員長

長嶺様どうもありがとうございました。今のお話でもありましたように、他のクラブではどの様なことをしているかとか、先週の佐々木さんのお話で南浦項のマッチンググラントのお話がありましたが、



次年度、榊年度は当クラブの40周年です。財団委員会として何かできないかとの参考になりました。

年度初めに活動計画書に年間1人160ドルの寄付をお願いすると目標を掲げました。本日近藤会員より200ドルの寄付をいただき、延べ16人の方から4,540ドルを頂戴しております。目標は160ドル×44人で7,040ドルです。後2,500ドル程で目標に届きますので、皆様ご理解の程よろしくをお願いします。黒田先生からはポリオプラスに20,000ドル頂戴しており黒田先生の多額の寄付で毎年のように財団寄付優秀クラブとして表彰されていることをご報告します。